



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 東ソー株式会社

コード番号 4042 URL <http://www.tosoh.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宇田川 憲一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理室長

(氏名) 河本 浩爾

TEL 03-5427-5123

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日

平成27年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	385,417	0.4	32,151	73.1	32,645	53.1	19,384	41.1
27年3月期第2四半期	383,960	5.0	18,569	1.6	21,326	△9.3	13,733	△2.7

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 17,451百万円 (36.4%) 27年3月期第2四半期 12,791百万円 (△34.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	31.23	31.18
27年3月期第2四半期	22.92	22.88

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	775,617		364,125			42.7
27年3月期	764,205		320,783			37.8

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 331,419百万円 27年3月期 288,959百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年3月期	—	7.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	760,000	△6.1	71,000	38.1	70,000	16.3	44,000	△29.4	69.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	650,161,912 株	27年3月期	601,161,912 株
28年3月期2Q	1,258,790 株	27年3月期	1,971,350 株
28年3月期2Q	620,704,598 株	27年3月期2Q	599,182,280 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

連結業績予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づいております。従いまして今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

平成27年11月5日(木)に、四半期決算説明資料を当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10
4. 補足情報	P. 12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年9月30日）のわが国経済は、中国並びに新興国経済の減速の影響を受け、輸出・生産面に鈍い動きがみられるものの、企業収益は引き続き改善傾向を継続しております。また、雇用・所得環境の着実な改善を背景に個人消費は底堅い動きを見せる等、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような情勢下、当社グループの連結業績は、原油・ナフサ価格等の下落に伴い国内外の石油化学製品の価格は下落したものの、オレフィン製品における非定修年に伴う生産増及び塩化ビニルモノマーの生産能力増強等を背景とした販売数量増等により、売上高は3,854億17百万円と前年同期に比べ14億57百万円（0.4%）の微増となりました。営業利益については、円安及び原燃料安を背景とした交易条件の改善等により321億51百万円と前年同期に比べ135億82百万円（73.1%）の増益となりました。経常利益については、326億45百万円と前年同期に比べ113億18百万円（53.1%）の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、193億84百万円と前年同期に比べ56億50百万円（41.1%）の増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

## 石 油 化 学 事 業

エチレン、プロピレン等のオレフィン製品は、非定修年による生産量増加に伴い、出荷が増加いたしました。また、ナフサ価格等の下落を反映して製品価格は下落いたしました。

ポリエチレン樹脂は、輸出が円安及び原料価格の下落に伴う交易条件の改善を背景に出荷が増加いたしました。クロロブレンゴム及びクロロスルホン化ポリエチレンは、円安に伴い輸出価格が改善いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ165億32百万円（14.2%）減少し1,000億88百万円となりましたが、営業利益は交易条件の改善により、前年同期に比べ23億32百万円（53.7%）増加し66億76百万円となりました。

## ク ロ ル ・ ア ル カ リ 事 業

苛性ソーダの出荷は増加いたしました。また、国内製品価格については緩やかに下落しましたが、輸出価格は円安により改善いたしました。塩化ビニルモノマー及び塩化ビニル樹脂の出荷は、昨秋実施した塩化ビニルモノマーの生産能力増強を背景に増加しましたが、ナフサ価格等の下落を反映して製品価格は下落いたしました。

セメントは、需要減退の影響により国内出荷は減少しましたが、輸出は増加いたしました。

ウレタン原料は、中国経済の減速等により出荷が減少するとともに、市況も軟化いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ35億62百万円（2.6%）増加し1,409億85百万円となり、営業損益は交易条件の改善により、前年同期に比べ66億48百万円増加し61億75百万円となりました。

## 機 能 商 品 事 業

エチレンアミンの出荷は減少しましたが、円安及び海外市況の上昇により製品価格は改善いたしました。

計測関連商品は、液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が増加いたしました。診断関連商品は、体外診断用医薬品の出荷が増加いたしました。

ハイシリカゼオライトは、自動車排ガス触媒用途の出荷が増加いたしました。ジルコニアは、歯科材料用途の出荷が増加いたしました。電解二酸化マンガンは、二次電池用途の出荷が減少いたしました。石英ガラスの出荷は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ110億24百万円（14.1%）増加し892億16百万円となり、営業利益は前年同期に比べ48億59百万円（36.5%）増加し181億87百万円となりました。

## エンジニアリング事業

水処理事業においては、国内では電子産業分野での設備投資やメンテナンス、改造工事の伸長等により売上高は増加いたしました。海外では電子産業分野の設備投資の増加等により売上高は増加いたしました。

建設子会社の売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ44億5百万円(14.1%)増加し356億12百万円となり、営業損益は前年同期に比べ77百万円増加し4百万円となりました。

## その他事業

物流子会社の売上高は堅調に推移しましたが、商社の売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ10億2百万円(4.9%)減少し195億15百万円となり、営業利益は前年同期に比べ3億36百万円(23.3%)減少し11億6百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産は、現金及び預金の増加等により、前期末に比べ114億11百万円増加し7,756億17百万円となりました。

負債は、有利子負債の減少等により、前期末に比べ319億29百万円減少し、4,114億91百万円となりました。

純資産は、増資による資本金及び資本剰余金の増加等により、前期末に比べ433億41百万円増加し、3,641億25百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善が続くなか、各種政策効果もあり、景気は緩やかに回復していくと思われまます。しかしながら、海外経済の急失速等の外部環境の悪化等が懸念材料となっております。

このような環境の下、販売数量の拡大、適正価格の維持、コスト低減等、収益力の回復に向けてあらゆる施策を実施してまいります。

通期の業績予想につきましては、平成27年5月11日に公表した予想値を下記の通り修正いたしました。

なお、通期業績における下期の前提については、国産ナフサ価格を42,000円/KL、為替レートを120円/US\$としております。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 810,000	百万円 67,000	百万円 67,000	百万円 43,000	円 銭 71.76
今回修正予想(B)	760,000	71,000	70,000	44,000	69.43
増減額(B-A)	△50,000	4,000	3,000	1,000	
増減率(%)	△6.2	6.0	4.5	2.3	
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	809,683	51,397	60,197	62,297	103.97

詳細につきましては、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した結果を計上しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。 )及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。 )等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得関連費用若しくは連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結財務諸表等におけるキャッシュ・フロー計算書の作成に関する実務指針第26-4項に定める経過的な取扱いに従っており、比較情報の組替えは行っておりません。

なお、当該変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	55,915	84,480
受取手形及び売掛金	200,577	190,350
商品及び製品	85,743	86,010
仕掛品	9,609	14,689
原材料及び貯蔵品	36,098	36,330
その他	43,298	38,363
貸倒引当金	△967	△930
流動資産合計	430,275	449,294
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	85,336	77,945
土地	73,081	74,040
その他(純額)	75,198	74,821
有形固定資産合計	233,617	226,806
無形固定資産		
	2,961	4,769
投資その他の資産		
投資有価証券	55,992	49,702
退職給付に係る資産	20,366	20,884
その他	21,414	24,572
貸倒引当金	△421	△412
投資その他の資産合計	97,351	94,746
固定資産合計	333,930	326,322
資産合計	764,205	775,617

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	102,048	96,671
短期借入金	174,678	150,591
未払法人税等	3,334	9,745
引当金	8,364	10,434
その他	29,745	33,081
流動負債合計	318,170	300,524
固定負債		
長期借入金	96,848	85,134
引当金	2,325	691
退職給付に係る負債	19,432	19,479
その他	6,644	5,660
固定負債合計	125,250	110,966
負債合計	443,421	411,491
純資産の部		
株主資本		
資本金	40,633	55,173
資本剰余金	30,053	44,638
利益剰余金	203,627	219,782
自己株式	△685	△464
株主資本合計	273,629	319,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,976	8,841
繰延ヘッジ損益	△0	△1
土地再評価差額金	560	-
為替換算調整勘定	2,426	2,170
退職給付に係る調整累計額	1,367	1,278
その他の包括利益累計額合計	15,330	12,288
新株予約権	311	307
非支配株主持分	31,513	32,398
純資産合計	320,783	364,125
負債純資産合計	764,205	775,617



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	383,960	385,417
売上原価	315,975	302,021
売上総利益	67,985	83,396
販売費及び一般管理費	49,416	51,245
営業利益	18,569	32,151
営業外収益		
受取利息	82	82
受取配当金	533	837
為替差益	2,540	-
持分法による投資利益	477	1,082
受取保険金	23	41
その他	845	899
営業外収益合計	4,503	2,943
営業外費用		
支払利息	1,497	1,269
為替差損	-	626
その他	247	552
営業外費用合計	1,745	2,449
経常利益	21,326	32,645
特別利益		
固定資産売却益	278	147
投資有価証券売却益	3	135
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	1,069	-
負ののれん発生益	-	313
特別利益合計	1,351	596
特別損失		
固定資産売却損	18	6
固定資産除却損	555	531
投資有価証券売却損	0	55
減損損失	-	3,118
段階取得に係る差損	-	44
特別損失合計	573	3,757
税金等調整前四半期純利益	22,104	29,484
法人税等	8,840	9,547
四半期純利益	13,263	19,936
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△469	552
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,733	19,384

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	13,263	19,936
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,466	△2,012
繰延ヘッジ損益	0	△1
為替換算調整勘定	△2,238	15
退職給付に係る調整額	296	51
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△537
その他の包括利益合計	△472	△2,485
四半期包括利益	12,791	17,451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,338	16,897
非支配株主に係る四半期包括利益	△547	554

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	22,104	29,484
減価償却費	16,681	17,390
減損損失	-	3,118
退職給付に係る資産負債の増減額	224	△466
受取利息及び受取配当金	△616	△920
支払利息	1,497	1,269
為替差損益(△は益)	△545	473
持分法による投資損益(△は益)	△477	△1,082
固定資産売却損益(△は益)	△260	△140
固定資産除却損	555	531
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	△1,069	-
負ののれん発生益	-	△313
売上債権の増減額(△は増加)	△17,102	11,414
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,615	△4,709
仕入債務の増減額(△は減少)	8,844	△6,257
その他	△5,916	1,615
小計	19,304	51,409
利息及び配当金の受取額	726	1,284
利息の支払額	△1,528	△1,271
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△12,109	1,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,391	52,636
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△14,743	△11,089
固定資産の売却による収入	589	175
投資有価証券の取得による支出	△98	△439
投資有価証券の売却及び償還による収入	23	1,873
貸付けによる支出	△2,291	△2,678
貸付金の回収による収入	1,994	2,454
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△3,052
その他	△148	△735
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,675	△13,492
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,512	△21,811
長期借入れによる収入	17,958	4,695
長期借入金の返済による支出	△19,501	△19,059
社債の償還による支出	△8	-
株式の発行による収入	-	29,078
配当金の支払額	△1,796	△2,991
非支配株主への配当金の支払額	△137	△144
その他	△45	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17	△10,293
現金及び現金同等物に係る換算差額	△98	△394
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,399	28,456
現金及び現金同等物の期首残高	55,127	55,740
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	51
連結子会社と非連結子会社の合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	44	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,772	84,248

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年7月21日を払込期日とする公募増資及び平成27年7月29日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資を実施したことにより、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ14,539百万円増加しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が55,173百万円、資本剰余金が44,638百万円となっております。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	116,620	137,422	78,191	31,207	20,518	383,960	—	383,960
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55,867	15,393	6,082	5,181	23,398	105,923	△105,923	—
計	172,488	152,816	84,274	36,388	43,916	489,884	△105,923	383,960
セグメント利益 又は損失(△)	4,344	△472	13,328	△73	1,443	18,569	—	18,569

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	100,088	140,985	89,216	35,612	19,515	385,417	—	385,417
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48,270	13,991	6,801	4,387	24,422	97,873	△97,873	—
計	148,358	154,977	96,017	40,000	43,937	483,291	△97,873	385,417
セグメント利益	6,676	6,175	18,187	4	1,106	32,151	—	32,151

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「機能商品」セグメントにおいて、稼働率が著しく低下した一部生産設備等について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては3,118百万円であります。

## 4. 補足情報

**2015年度第2四半期連結決算概要**

平成27年10月30日

東ソー株式会社

## (1)業績

(単位:億円)

	2014年度 第2四半期	2015年度 第2四半期	増 減	2014年度	2015年度(予想)
売 上 高	3,840	3,854	15	8,097	7,600
営 業 利 益	186	322	136	514	710
経 常 利 益	213	326	113	602	700
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	137	194	57	623	440
1株当たり四半期(当期)純利益	22円92銭	31円23銭	8円31銭	103円97銭	69円43銭

## (2)指標

	2014年度 第2四半期	2015年度 第2四半期	増 減	2014年度	2015年度(予想)
為替[TTM期中平均](円/\$)	103.01	121.87	18.86	109.76	120.94
為替[TTM期中平均](円/EUR)	138.90	135.11	△3.79	138.69	132.55
国産ナフサ価格(円/KL)	70,400	48,000	△22,400	63,450	45,000

設 備 投 資 額	166	106	△59	331	280
減 価 償 却 費	153	158	4	328	330
研 究 開 発 費	63	70	7	129	140
期 末 有 利 子 負 債	2,878	2,357	△521	2,715	2,000
金 融 収 支	△9	△3	5	△17	△1
自 己 資 本 比 率 (%)	31.4	42.7	11.3	37.8	—
期 末 従 業 員 数 (人)	11,611	12,162	551	11,594	12,100

(注)億円未満は四捨五入

## (3)トピックス

- 2015年9月 フィリピン・マブハイ社を子会社化
- 2016年秋予定 酵素免疫測定試薬製造設備の能力増強
- 2016年秋予定 ジルコニア粉末製造設備の能力増強
- 2016年秋予定 マレーシアにてハイシリカゼオライトの海外生産拠点を新設

## (4) 事業セグメント別増減内訳

(単位:億円)

		2014年度 第2四半期	2015年度 第2四半期	増 減	増 減 要 因			
					数量差	価格差	交易条件	固定費差他
石油化学	売上高	1,166	1,001	△165	128	△293	—	—
	営業利益	43	67	23	10	—	14	△1
クロル・アルカリ	売上高	1,374	1,410	36	89	△53	—	—
	営業利益	△5	62	66	11	—	61	△5
機能商品	売上高	782	892	110	30	80	—	—
	営業利益	133	182	49	14	—	40	△5
エンジニアリング	売上高	312	356	44	34	10	—	—
	営業利益	△1	0	1	0	—	0	1
その他	売上高	205	195	△10	1	△11	—	—
	営業利益	14	11	△3	△3	—	0	0
合計	売上高	3,840	3,854	15	281	△267	—	—
	営業利益	186	322	136	32	—	115	△11

(注)億円未満は四捨五入

## (5) 業績予想

(単位:億円)

		2014年度	2015年度(予想)	増 減	2015年度(予想)内訳	
					上期	下期
石油化学	売上高	2,237	1,815	△423	1,001	814
	営業利益	69	128	58	67	61
クロル・アルカリ	売上高	2,943	2,812	△131	1,410	1,402
	営業利益	83	162	79	62	100
機能商品	売上高	1,749	1,743	△6	892	850
	営業利益	300	354	55	182	173
エンジニアリング	売上高	757	846	88	356	489
	営業利益	33	42	8	0	42
その他	売上高	410	385	△25	195	190
	営業利益	28	25	△4	11	13
合計	売上高	8,097	7,600	△497	3,854	3,746
	営業利益	514	710	196	322	388

(注)億円未満は四捨五入